

株式会社 4°Cホールディングス

YONDOSHI HOLDINGS INC.

2025年1月10日

(証券コード: 8008、東証プライム市場)

2025年2月期第3四半期決算概要

- ・ 連結業績は3期連続増収、四半期純利益は3期連続の増益。
- ・ ブランド事業はMD改革を推進、減収ながら女性客の売上高拡大に手応え。
- ・ アパレル事業は、「パレット」10店舗の新規出店や既存店の伸長、アスティグループの主力取引先との取り組み強化により増収。
- ・ ㈱羅針の子会社化に伴い第4四半期よりP/Lの連結決算取り込みを開始する予定、通期業績予測を修正。
- ・ 株主還元方針として安定的・継続的な配当(DOE4%以上)と自己株式の取得による総還元性向の水準向上を掲げるなか、年間配当は83円を予定。

株式会社4°Cホールディングス(本社:東京都品川区、代表取締役社長 増田英紀)はこの度、2025年2月期中間期決算(2024年3月1日から2024年11月30日まで)を発表いたしましたので、概略のご報告をいたします。

1) 連結業績概況

| (百万円、%) | 2024年2月期 第3四半期 | 2025年2月期 第3四半期 | 前年同期比 |
|----------------------|-------------------|-------------------|--------|
| 売上高 | 28,697 | 29,193 | +1.7% |
| 営業利益 | 1,337 | 1,152 | ▲13.8% |
| 経常利益 | 1,663 | 1,468 | ▲11.7% |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 921 | 1,008 | +9.5% |

1株当たり四半期純利益 47円02銭(前年同期42円96銭)

期中平均株式数(連結) 21,460,008株

のれん償却前営業利益 2025年2月期中間期 1,524百万円(前年同期1,709百万円)

流通業界は、高額品の売れ行きが好調に推移し、インバウンド需要も増加する一方、物価高騰に賃金の上昇が追いつかず、消費者の節約・低価格指向も続いており、消費の二極化はますます拡大しております。このような状況のなか、当社グループは、企業価値の向上を目指し、事業ごとの重点課題に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期の売上高は291億93百万円(前年同期比1.7%増)、営業利益は11億52百万円(前年同期比13.8%減)、経常利益は14億68百万円(前年同期比

本社: 東京都品川区上大崎二丁目19番10号

設立: 1950年5月

資本金: 24億8,652万円

事業内容: 「4°C」ジュエリーの企画・製造・販売及び高級ブランド時計の買取・販売を行うブランド事業、アパレルOEM・ODM及びデイリーファッション「パレット」をチェーン展開するアパレル事業

ウェブサイト: <https://yondoshi.co.jp/>

問い合わせ先: (株)4°Cホールディングス 経営企画室

TEL 03-5719-3295

e-mail ir-yondoshi@yondoshi.co.jp

11.7%減)、四半期純利益は10億8百万円(前年同期比9.5%増)となりました。

■ブランド事業

売上高 105億94百万円(前年同期比9.3%減)

営業利益 5億円(前年同期比16.8%減)

ブランド事業を展開するエフ・ディ・シー・プロダクツグループは、女性客の支持拡大に向けた商品・販売促進戦略の見直しによる基盤づくりに取り組んでおります。MD改革によるテイストの幅の拡大、ブランドプロモーションに積極的に手を打つことで、減収ながら女性客の売上高は拡大基調が続いております。

■アパレル事業

売上高 185億98百万円(前年同期比9.3%増)

営業利益 10億16百万円(前年同期比5.7%減)

デイリーファッション「パレット」を展開する(株)アージュは、関東5店舗、関西5店舗の積極的な新規出店と既存店の伸長により売上高が拡大いたしました。アスティグループは、強みである海外生産基盤を背景に、主力取引先との取り組みが拡大し、売上・利益ともに好調に推移しました。

2) 通期の連結業績見通し

| (百万円、%) | 2024年2月期 (実績) | 2025年2月期 (前回発表) | 2025年2月期 (修正予想) | 前回発表 予想比 | 前期比 |
|---------------------|------------------|--------------------|--------------------|-------------|--------|
| 売上高 | 39,457 | 41,000 | 46,000 | +12.2% | +16.6% |
| 営業利益 | 2,096 | 2,350 | 2,100 | △10.6% | +0.2% |
| 経常利益 | 2,515 | 2,800 | 2,500 | △10.7% | △0.6% |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 1,300 | 1,600 | 1,400 | △12.5% | +7.6% |

1株当たり予想当期純利益(通期)65円06銭
期中平均株式数(連結)21,460,008株
のれん償却前EPS88円13銭

2024年4月12日に公表しました2025年2月期通期連結業績予想に対する進捗において、アパレル事業は、増収増益を確保する見込みです。一方で、ブランド事業は、体験価値を訴求する各種施策の実施により女性客売上高は順調に拡大しておりますが、最大需要期であるクリスマス商戦における男性客の売上は前期を下回る結果となりました。

このほか、2024年12月2日付で子会社化した株式会社羅針の業績を当第4四半期より連結業績に取り込む予定であり、統合による費用等の計上も含めて予想に織り込んだ結果、前回発表時の通期連結業績予想を上記のとおり修正いたします。

(注)上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の経済情勢等、様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

3) 当期の配当

| 年間配当金 | | | | | |
|----------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 前 期 | — | 41.50 | — | 41.50 | 83.00 |
| 当 期 | — | 41.50 | — | | |
| 当 期 (予想) | | | | 41.50 | 83.00 |

当社グループは、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題の一つと認識し、利益配分に関する基本方針として安定的・継続的な配当を機動的な自己株式の取得を実施すること等による利益還元の水準向上を掲げております。また、株主還元を測る重要な指標としてDOE 4%以上を目標に設定し、将来における1株当たり年間配当100円の達成を目指しております。

上記方針に基づき、2025年2月期配当については、中間・期末ともに41円50銭、年間83円を予定しております。

以上